

# こんにちは 森林官です!

渡島森林管理署  
熊石森林事務所

首席森林官 三島 弘世



左が筆者

## 地勢と名所

当森林事務所は、日本海に面して対岸に奥尻島を望む道南地域の西側に位置し、海岸線には奇岩、岩礁が連なる風光明媚な場所にあります。

管内市町村は、平成17年の市町村合併により八雲町熊石とせたな町大成区の2町となっています。

大成地区の名所としては、テレビ等でもたびたび紹介され全国的に有名になった太田神社があります。断崖絶壁にご本尊が奉られていることで知られており、春から秋にかけては平日でも参拝者や観光客が訪れる観光名所となっています。



太田神社入口

## 森林事務所の特徴

一方、熊石地区では、近年、サクラマスの釣り場と

して、冬から春の間、多くの釣り愛好家が訪れています。近隣には平田内キャンプ場、平田内温泉があり、さらにその奥には露天風呂として有名な秘湯熊ノ湯があります。



平田内キャンプ場

## 管内概要

管内の国有林面積は、大成地区が約10千ha、熊石地区は約16千haとなっており、管理面積は渡島署内の10森林事務所でも最大となっていますが、大半が遊樂部岳に代表される急峻な山岳地帯と日本海特有の巨大な岩を積み上げたような岩盤の海岸線で占められており、施業可能な森林地帯は限られています。

管内の森林施業については、昨年度に下刈作業が全て完了し、つる切除伐、初回及び2回目以降の間伐が主体となっています。主な業務としては請負事業の監

督検査、森林の調査や林内にある路網の点検・巡視、境界の保全管理、自治体・事業者対応等を行っています。

## 昨年度の代表的な事業

前述のとおり、当事務所管内は地形の性質上、地盤がもろく林道の法面崩壊や転石が非常に多いため、定期的な管内巡視が必須の業務となっています。

熊石地区の平田内流域では、平成29年の大雨により大量の土砂と倒木が町道に押し寄せる被害がありました。現場の直下の河川には、町内の飲料水を取水する集水施設があり、被害が拡大すれば住民の生活に多大な影響を及ぼす危険がありました。

また、熊ノ湯へアクセスする唯一の町道のため観光客の通行も多いことから、早急な対応を求める地域からの要請を受け、「平田内地区災害関連緊急事業」として、深床の傾斜を緩やかにし、下流の町道を保全するため治山ダムを施工しました。

当事務所では現地の状況変化を早期に発見できるよ

う、週1〜2回及び悪天候後の定点撮影を工事開始までの間に行いました。



平田内地区の治山工事現場

また、立木販売した間伐物件の伐採搬出が集中したため、昨年5月から今年の5月の1年間、監督や支障木調査等、多忙な日々が続きました。

現場に行く回数が増えれば、思わぬ出来事が起こる頻度も高くなるもので、別流域の支障木調査中の作業道上で、親子のヒグマに出くわし、親熊に威嚇され、こちらに向かってくる素振りを見せたため、調査を中止したこともありました。

## 終わりに

地元の皆さんとのつながりを持ち、理解と協力を得ながら、地域と国有林のパイプ役として貢献できるように業務を進めていくとともに、この自然豊かな森林を後世へ引き継いで行くために、日々精進したいと思います。